

校長 平井 慶一郎

地域防災デーを実施しました

6月11日(土)、地域の皆様のお力添えのもと、地域防災デーを実施いたしました。1・2時間目を授業参観とし、保護者だけでなく地域の方にも普段の授業の様子を見ていただく機会を設けました。

学校と家庭は地域という大きなコミュニティの中に存在しています。地域社会の一員です。災害が発生した時、生徒たちは地域の若い大きな力として地域に貢献しなければなりません。コロナ禍にあって学校としても地域としてもなかなか防災に関する行事が行えない状態が続きました。今回の学校の取組をきっかけとして、大楠中学校学区の防災がコロナ禍前の状態に戻り、生徒を含む家庭や学校も地域の一員であるということを再認識できれば良いと考えます。

地域防災デー実施にあたっては、新倉連合町内会長様をはじめ、本校を取り巻く各町内会長・自治会長様をはじめとした地域役員の皆様には大変お世話になりました。学校の都合でご協力をお願いした形となりましたが、学校だけの行事ではなく、災害時を想定した地域の対応策として、また地域の皆様と学校・生徒との顔見知り度を上げる取組として、今後もお力添えいただければ幸いに存じます。ありがとうございました。

市教委より

～マスクを外すよう指導します～
熱中症対策として、登下校時および体育、部活動時は、マスクを外すよう指導します。着用希望者へは天候等を見極め、適切に対応します。

【大楠地区連合町内会に参加してきました】5/13のブログより

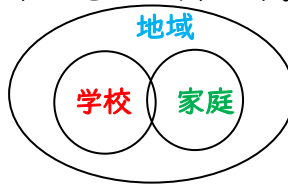
大楠中学校学区を取り巻く町内会自治会長様及び役員が参集し、2か月に1度連合町内会議が開催されています。昨日、その会議に参加させていただきました。

学校及び家庭は、地域という大きなコミュニティの中に存在します。地域が学校の生活の母体です。学校だけで、あるいは学校と家庭だけで子どもたちの教育を全うすることはできません。学校を1歩出れば、生徒ではなく地域の子どもになります。悪いことをすれば学校で叱るのではなく、地域全体で叱ってくださいます。地域の教育力が生徒育成のカギになります。

災害が発生すれば、中学生は地域の大きな力になります。地域のために活躍することになります。学校が地域に求めるだけでなく、地域も学校に求めます。学校と地域の関係は持続可能でなければいけません。そうするために必要なことは何かを考えながら地域連携を進めていきたいと思えます。

まずはお互いに顔見知りになりましょう。顔見知り度を高めましょう。そうすれば「〇〇さんとこの〇〇さん」と地域での行動を気にかけてくれます。悪いことをすれば叱ってくれます。いいことをすれば褒めてくれます。日常の連携が大切です。

【地域を大切に】5/23のブログより



20日(金)11:20頃、地域の方より電話連絡がありました。

「大きい買い物の荷物を持って歩いていたら、通りかかった大楠中の生徒数人がその荷物をもって家まで一緒に歩いてくれた。心が温かくなって、うれしくて思わず学校に電話をしました。」

2年生はキャンプ翌日だったため、午前中で下校しましたので、本校の2年生の行動です。地域を大切に、地域に愛される学校づくりの実践です。報告を聞いた時の校長の嬉しさは表現のしようがありません。きっとその地域の方は今回の出来事をずっと忘れないと思えます。その方や地域のために貢献したその生徒たちもきっと心地よかったです。貢献する喜びを感じたはずですよ。

今回の件は、本朝全校生徒に報告しました。「褒められるためにやる」ではなく、「困っているから手伝う」とても素晴らしい行動でした。ありがとうございます！

学校教育目標

1. 自ら学び自ら考え、豊かな知識を求める生徒の育成
2. 他人を思いやり、正しく判断し自律的に行動する生徒の育成
3. たくましい体力と気力を持ち、粘り強くやり抜く生徒の育成
4. 勤労を尊び、協力して実践活動のできる生徒の育成

大楠中学校
電話 856-2028
住所 横須賀市芦名 1-2-1